

# レジメンスケジュール

診療科	消化器外科
適応	切除不能 進行・再発大腸癌
レジメン	大腸Cape+Bmab療法

申請・改訂日	2022年2月
備考	

クール関連	
-------	--

使用した臨床データ	
適正使用ガイド、がん化学療法レジメンハンドブック	

全クール																				
投与順	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	day21	
①		生理食塩液	100mL	メイン	ルートキープ	残フラッシュ	○													
②	○	ペバシズマブ	7.5mg/kg	メイン	初回90分 2回目60分 3回目30分可能		○													
		生理食塩液	100mL																	
③	○	カペシタピン	2000mg/m <sup>2</sup> /day	内服	1日2回朝夕			day1-14後休薬(2投1休)												終了

カペシタピン C法(1000mg/m <sup>2</sup> /回)			
体表面積	1回用量		
	初回投与量	減量段階1	減量段階2
1.36 m <sup>2</sup> 未満	1,200 mg (4錠)	900 mg (3錠)	600 mg (2錠)
1.36 m <sup>2</sup> 以上1.41 m <sup>2</sup> 未満			
1.41 m <sup>2</sup> 以上1.51 m <sup>2</sup> 未満	1,500 mg (5錠)	1,200 mg (4錠)	900 mg (3錠)
1.51 m <sup>2</sup> 以上1.66 m <sup>2</sup> 未満			
1.66 m <sup>2</sup> 以上1.81 m <sup>2</sup> 未満	1,800 mg (6錠)	1,500 mg (5錠)	1,200 mg (4錠)
1.81 m <sup>2</sup> 以上1.96 m <sup>2</sup> 未満			
1.96 m <sup>2</sup> 以上2.11 m <sup>2</sup> 未満	2,100 mg (7錠)		
2.11 m <sup>2</sup> 以上			

## 減量・中止基準

カペシタビン			
副作用	程度	処置	
血液毒性	Grade	発現回数	
	G3	1	休薬、G1以下に回復後1段階減量
		2	休薬、G1以下に回復後1段階減量
	G4	1	休薬、G1以下に回復後2段階減量か中止
非血液毒性	Grade	発現回数	処置
		1	変更なし
	G2	2	休薬、G1以下に回復後1段階減量
		3	休薬、G1以下に回復後2段階減量
	G3	1	休薬、G1以下に回復後1段階減量
		2	休薬、G1以下に回復後2段階減量
	G4	1	休薬、G1以下に回復後2段階減量か中止
ベバシズマブ			
副作用	程度	処置	
高血圧	G1(症状はなく一過性の拡張期血圧の20mmHgの上昇、以前正常であった場合150/100mmHgへの上昇)	特に介入は必要としない。投与継続可能だがモニタリングを継続	
	G2(再発性、持続性または症状を伴う拡張期血圧の20mmHgの上昇、以前正常であった場合150/100mmHgへの上昇)	降圧薬(単剤)による薬物治療が必要となる場合がある。投与継続可能だがモニタリングを継続	
	G3(2種類以上の降圧薬または以前より集中的な治療を必要とする場合)	血圧コントロールが可能になるまで休薬	
	G4(高血圧性脳症や高血圧性クリーゼなど、生命を脅かす場合)	投与中止、以後再投与はしない	
出血	重度的場合	投与中止、以後再投与はしない	
蛋白尿	G1(1+または0.15~1g/24h)	特に介入は必要としない。投与継続可能だがモニタリングを継続	
	G2(2+~3+または1~3.5g/24h)	G1に回復するまで休薬	
	G3(4+または3.5g/24h超)	G1に回復するまで休薬	
	G4(ネフローゼ症候群)	投与中止、以後再投与はしない	
消化管穿孔、瘻孔	発現時	投与中止、以後再投与はしない	
損傷治癒遅延	発現時	投与中止、治癒するまで再開しない	
血栓塞栓症	発現時	投与中止、以後再投与はしない	
可逆性後白質脳症症候群	発現時	投与中止、以後再投与はしない	
骨髄抑制、感染症	発現時	投与中止	
うっ血性心不全	発現時	投与中止、以後再投与はしない	
間質性肺炎	発現時	投与中止、以後再投与はしない	
血栓性微小血管症	発現時	投与中止、以後再投与はしない	
解離	発現時	投与中止、以後再投与はしない	

## 2コース目以降の投与開始基準

カペシタビンとオキサリプラチン
好中球数1500/mm3以上並びに血小板数75000/mm3が満たされない場合は回復するまで休薬する。